

平成 26 年 岡崎むかし館 夏休み子ども体験講座
観察しよう！くらしの道具

道具の観察ワークシート② こなす道具

・ 薬研(やげん)



■ どんな道具？

かんぽうやく
漢方薬や花火の火薬製造などに使う
こな
「粉にする」道具です。鉄製が多く、木製
や石製、陶製の薬研もあります。細長い
舟形で、中央がV字形にくぼんでいる薬
研(うす)と円板形の車えんばんに軸じくを通して持ち
手とした薬研車(すり具)からなります。中
国の唐の時代に発明され、日本には11
世紀(平安時代)、お茶をひくための道具
(茶てん)として伝えられています。

<使い方>

座って、体の正面に薬研が縦長方向になるように置き、くぼみの中に材料を少量ずつ入れて薬研車の軸を両手でつかんで前後に回転させて押しくだき、粉にします。

・ 石臼(いしうす)～三河型～



■ どんな道具？

石製の上臼と下臼を重ね合わせて、上臼を
手動で回転させて、穀物こくもつをすりつぶして粉
にします。中央アジアで紀元前7世紀ころ
に出現したといわれ、日本では江戸時代にな
ってから一般農家に普及しました。使用
されている石の種類、ひき手の取り付け方
など、地域によって特色がみられます。
(穀物を粉すだけでなく、水に浸した大豆
をひくなど、とうふ作りにも使いました。)

<使い方>

- ① 上臼の穴から少しずつ、粉にする穀物を入れます。
- ② ひき手を持ち、「反時計回り方向」に回転させます。始めは回転も重く、粉もすぐには出てきませんが、しばらくすると合わさった石臼の縁から、サラサラと粉がでてきます。
- ③ 粉をひく時は、はやく回しすぎないように、一定のはやさでゴロゴロとひきます。

体験★粉にする道具を使ってみよう！

・薬研(やげん) お茶の葉っぱを粉にしてみよう！

☆ どのくらい細かくすると、粉のお茶として飲むことができるかな？

[]

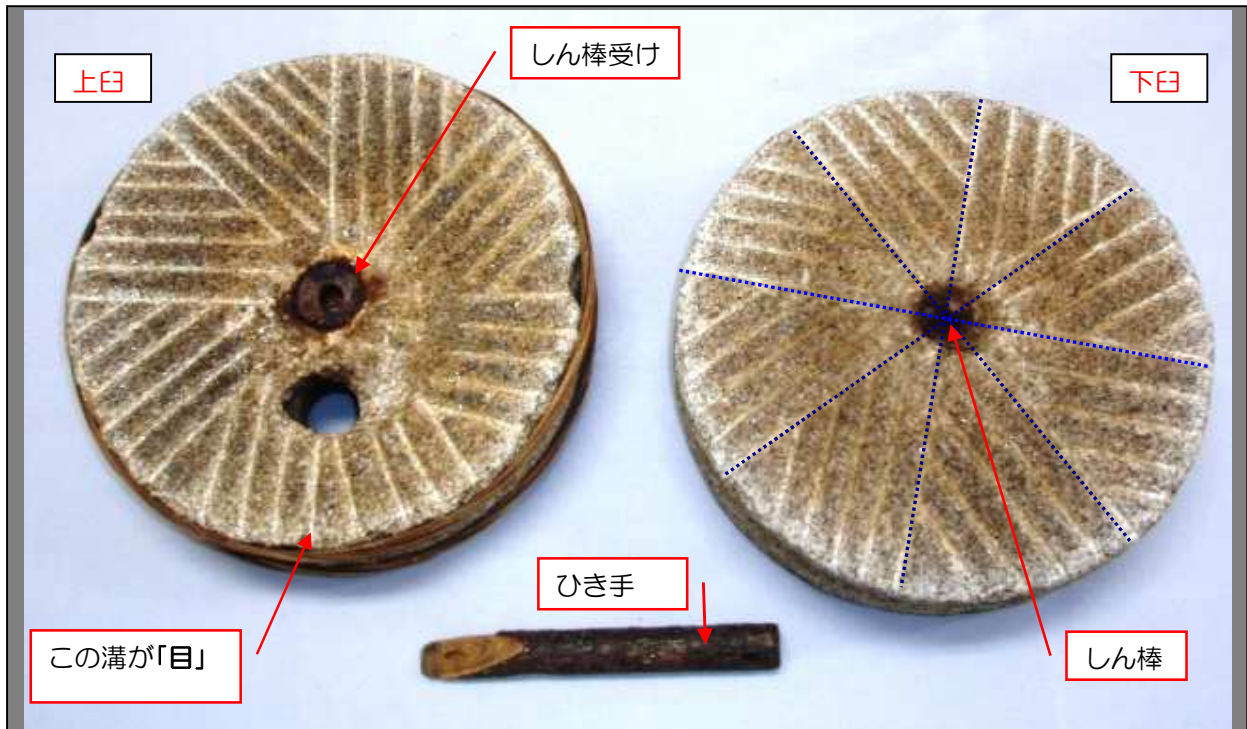
☆ 道具とことば

「薬研彫り」の言葉の意味は、溝が薬研のように「ほ」形みぞの彫り方だよ。

・石臼(いしうす)～三河型～ 大豆を粉にしてみよう！

☆ 粉をひくには、「ほ」方向へまわします。(逆に回すと粉はでないよ。)

☆ 石臼のヒミツは、石臼の「目」にあり。 石臼の構造を観察しよう！



【三河型の特徴】(a.とb.のどちらか正しい方に○をつけよう。)

- ・ 素材はキラキラ雲母うんもの混ざった [a.花崗岩かこうがん・b.大理石だいにせき]
- ・ 東海や近畿地方の臼の目は [a.3・b.8] 区分が多い。
- ・ 引き手が竹のタガで臼の [a.横側・b.真ん中] に固定されている。

※ その土地で採れるものを素材に、作られたむかしの道具は、地域による特色をみることができるよ。よく、観察しよう。

* 薬研や石臼のほかに、どんな「粉にする道具」があるか調べ、ちがいなどをくらべてみよう？